

ころばん体操出前講座活動報告(平成29年10月25日)

【講話】

- 1.「いつまでも自宅で暮らすために」 地域包括支援センター保健師 久保小百合
- 2.「がんばりすぎない介護を応援します」～退院支援について～
在宅医療・介護連携推進事業コーディネーター 南新敦子

参加者の声

平成29年10月13日(金) 御倉町公民館 13:30～15:30(参加者14名)

- ・「一人暮らしでこれからの事が心配です。そんな時どこに相談していいか分からなかったです。」
- ・「これからの事をどうして行けばいいのか教えてほしいです。」
- ・「10年くらい前に腰の手術をして退院の時に福祉用具を揃えましたが、トイレを高さ上げるための用具を購入しましたが、消耗して潰れそうになっているので、再度購入をしたいと思っています。こんな時、何処に相談できるのでしょうか・・・？」
- ・「介護の話など参考になりました。もっと具体的な話なども聞きたいと思います。第2段として次回講話の機会も考えたいと思います。」
- ・「今実感として、切実ではないがやはりこれから考えていかないといけない問題だと思っています。」

(講話後に、それぞれ不安に思っていること等、質問がありました。)

出来るだけ自宅で暮らして行きたいと思っているが相談できる所が分からないなどの声がありました。包括支援センターや医師会など相談窓口となっていることを知っていただく機会となりました。)

平成29年10月16日(月) 麓公民館 13:30～15:00(参加者17名)

- ・やっぱり、自分の家で暮らすのが望みですよええ・・・(皆さんが肯かれました)
 - ・「100何歳って人もいるけど、そんなに長生きはせんていいけど、元気で過ごして死にたいよええ...」
 - ・「だれも知らない内にポックリ行けばそれもいいけど・・・むつかしいですよええ・・・(笑い)」
- 色んな意見のあとほとんどの方がポックリ死ねたらいい・・・挙手がありました。
- ・夫が入院していますが大部屋でも皆さんがカーテンを閉めて部屋の人とほとんど会話がありません。なんか認知症が更に進むんじゃないかと思えます。やっぱり話をすることも大事だと思います。
 - ・家族の介護を考えると今日の話はとても参考になった。介護サービスのこと等本当に実感することでした。

(現時点で介護の不安等は感じていない方が多い印象でしたが、中にはご家族が介護認定を受けられている方もありました。本日の話を聞いて頂き参考になった、興味を持ったとの解答も多くあり、まずは、在宅医療、介護を知っていただけてよかったです。)



御倉町公民館



麓公民館